



セキヤノアキチヨウジ	<i>Isodon effusus</i> (Maxim.) H.Hara	絶滅危惧Ⅱ類
		シソ科
選定理由	既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が大幅に減少している。	<p>写真(加藤範夫)</p>  
形態の特徴	茎は直立し、高さ30-90cmになる多年草。葉は長楕円状狭卵形で、先は鋭く尖る。花期は9-10月。花柄は1-2.5cmと長く、花序の幅が広い。花色は青紫色。	
生態的特徴	山地の木陰に生える。	
分布状況	日本固有の種。本州(関東・中部地方)に分布する。県内では県南の東部に生育する。	
減少要因	本種の分布域は県南の東部に限定されており、もともと生育個体数も少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	
保全対策	生育地を公表する必要がある場合は、生育場所を特定することのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅲ」平凡社(1982)	

文責:佐藤和良